

教員インタビュー（小学校）

島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

小学校時代の担任の先生が神津島から異動してきた方でした。島のことについてよく教えてくださり、そのことが印象に残ったのがきっかけです。「いつか行ってみたいな」と何となく思っていたのですが、まさか自分が島の教員になるとは夢にも思いませんでした。

児童(生徒)の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

受け持った学年だけでなく、他の学年の子供たちのこともすぐに覚えます。そのため、クラスの子でなくても、よく声をかけてくれたり、一緒に遊んでくれたりするのが嬉しいです。また、人数が少ないことで、心にゆとりをもって子供たちに接することができるので、毎日笑顔でいられます。

島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

テレビやインターネットがあるので、子供たちの様子は内地と特に変わりはありません。校務については、教員数が少ないので一人あたりの分掌は多くなります。様々な分掌を経験させてもらえるので、スキルアップに繋がると思います。

仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

初任校で他の島にいたので、あまりイメージと違ったことはありませんでした。しかし、神津島は水が良いので水道水が美味しく飲めることと、何を食べても美味しいことに驚きました。また、市街地は思いのほか道が狭いので軽自動車か原付を準備しておけば良かったなと少し反省しています。

島だからできたことがあれば教えてください。（授業、行事、地域の関わりなど）

小規模校なので、自分のやりたい教育活動にチャレンジしやすいです。地域との関わりについては教員だけでなく、他業種の方とも仲良くなれるのが島ならではの気がします。

日常生活での買い物はどうしていますか。

週に1～2回スーパーで買い物をしています。大手通販サイトもよく利用しています。必要なものは大体手に入るので、特に不便さを感じたことはありません。

休日は、何をして過ごしていますか？

同僚や友人と釣りをしたり、食事をしたりしています。ゆっくりしたい時は部屋で映画や音を楽しむのもアリです。

島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

赴任初日に先生方や子供たちが学校で温かく出迎えてくれたことです。これからこの島のために頑張ろうと思えた瞬間でした。

島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

都会に住んでいた頃は「自分は大勢の中の一人」という感覚でした。島は自分らしく生きられる場所だと思います。また、家族と向き合う時間がたくさんあります。幼い子の子育てには最高の環境だと思います。

島への赴任を検討している方に一言お願いします。

初任校の島で出会った人たちとは、今も家族ぐるみの付き合いがあります。島では都会の生活では得ることのできない、かけがえのないものを得ることができます。初めての赴任は不安なことも多いと思いますが、助けてくれる人がたくさんいます。島の子供たちのために共に力を尽くしていけたら嬉しいです。